

講演者 渡部 晃生(日技会員)
岩元 健剛(歯科医師)

演題 「ラボ・クリニック間におけるインプラント補綴の連携」

講演抄録

歯科技工士として補綴装置を製作するうえで必要とされていることが4つあります。それは、機能 (Function)・構造 (Structure)・生体 (Biology)・審美 (Esthetic) の4要素です。これら4要素を補綴装置の製作に取り入れることで、患者にとって長期間わたり満足していただき、しかも健康維持にも繋がる補綴装置となることでしょう。

しかし、この目標を達成するためには、歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士との三位一体の連携、いわゆる「チーム医療」が非常に大切になってきます。さらに、近年ではデジタルデンティストリーへの潮流として CAD/CAM システムの普及により、歯科技工の手技・手法やマテリアルの選択などは歯科医師との相談が必要不可欠なものです。

そこで今回は、インプラント補綴にフォーカスを当てつつ、一般臨床における補綴装置製作の中で、私たちが日頃歯科医師と歯科技工士間でどのように連携しながら補綴修復を成功に導いてゆけるのかについて、両者の立場からお話させていただきます。